

鹿児島県柔道会だより

■発行人/北 哲郎 ■編集/総務部編集委員会 ■発行/財団法人鹿児島県柔道会(電話 099-222-7770)

・国民体育大会 (柔道競技)

★少年女子初の準優勝!

少年女子鹿児島は、鹿児島南高等学校の選手で構成。埼玉インターハイ団体3位に続いて国体でも実力を発揮し、鹿児島県勢で初めての準優勝に輝いた。先鋒の豎山優、中堅の東馬場とも子、大将の濱田尚里の3人が、優勝を目指して攻めの柔道に徹した結果だった吉村智之監督の好指導で、「高校に入ってから成長ぶりは、日本一。」と言われるレベルまで成長した。おめでとう。

鹿児島県体育協会表彰者

【体育功労者】

1 北菌季康

長年にわたり本県柔道の振興に尽力し、多大の貢献をした。

2 大脇純一郎

長年にわたり本県柔道の振興に尽力し、多大の貢献をした。

3 早川浩一郎

いちき串木野市柔道会会長として、柔道の普及発展に多大の貢献をした。

【県スポーツ少年団顕彰者】

1 池上邦廣

立神柔道スポーツ少年団の指導者として少年柔道の普及発展に多大の貢献をした。

2 田中一哉

東串良柔道スポーツ少年団の指導者として少年柔道の普及発展に多大の貢献をした

県柔道会館造士館の補修に

伴う表彰

◇感謝状 川路秋博【(株)環境科学】

◇感謝状 柏木茂穂【県柔道会理事】

第2回少年部指導者研修会

及び強化練習会」報告

減少傾向にある少年柔道の柔道人口を増やそうというねらいで始まった第2回目の少年部指導者研修会及び強化練習会が、7月21日(月)鹿児島アリーナ武道場で開催された。

県内の各支部から約60人の指導者と少年部の県指定選手等110名が参加し、指導者研修会と強化練習会が、会場を分けて並行して行なわれた。

指導者研修会では、北哲郎会長が、開会の挨拶で、少年教育の重要性と柔道がそれに果たす役割についての話があった。

次に、5月の全国少年大会に初出場した米倉柔道館の米倉優一監督が、全国大会での貴重な体験など報告があった。

研修では、最初に「少年部柔道の現状と課題」のテーマで、昨年に続き亀丸政弘副会長から、県内の少年柔道部員へのアンケート調査結果を基にした報告があり、「低学年の普及の重要性」・「父母の理解の大切さ」・「身近な道場の存在」等の課題が指摘された。

次に、田邊佑理事(少年部担当)から、「少年部の普及・競技力向上について」と題して、県内の柔道少年団員数の推移と地域差をはじめ少年柔道が抱える諸問題についての報告と提案があった。

最後に、少年団員が増加している国分柔友会の小妻幸蔵監督の事例発表があった。この中で、柔友会の活性化を図るための「子供の写真入のポスター募集・展示」、「誕生会や夏休みのキャンプ等イベントの実施」、「礼儀作法を取り入れた昇級試験の実施」等が、出席者の注目を集めた。

協議事項では、「少年大会の要項の検討に

ついて」田邊侑理事から提案されたが、特に、大会要項を改正すべきであると言うような意見は出されなかった。

指導者研修会の講評で北哲郎会長は、指導者は、柔道で強い選手を育てるだけでなく人間づくりと安全面にも十分配慮して指導して欲しい。また、全柔連傷害補償見舞金制度(年間500円)への加入を強調した。

強化練習会には、猛暑にもかかわらず小学校4年生から6年生の各階級の上級者や県下の少年団チームの代表者が集まった。

指導は、西郷昌隆、田原幸一、西有生央の3氏が担当した。日ごろとは異なる雰囲気の中で、指導者と「基本動作」・「投げ技の研究」に取組み、また、「技の説明」にも少年たちは、熱心に聞き入っていた。

閉会式では、豊永強副会長から、8月の全国大会に出場する監督と選手に激励のことばがあり、その後、鹿児島県強化指定選手へワッペン授与があった。

(支部だより 5)

「肝属支部の現況」

肝属支部長 山川 賢朗

肝属支部を紹介する機会を与えて下さったことに、深く感謝いたします。

1 肝属支部の構成

鹿屋市、垂水市、肝属郡の柔道愛好家によって組織されている。

2 登録会員(平成20年度)

指導者 44名 一般 21名 大学生
101名 高校生 31名 中学生 69名
スポーツ少年団 37名

合計 303名

3 肝属支部の歴史

昭和31年6月に鹿児島県柔道会長故林岩三先生・故吉松義彦先生出席のもと、故牧重行先生を中心に鹿屋の柔道愛好者30名の有志が集まり発足した。

平成10年に立派な武道館を建設していただいた山下榮鹿屋市長も若いころ事務局長として活躍された。

今年は、武道館開設10周年記念大会を

県内外から650名の参加者を得て開催しました。

4 肝属支部の活動の指針

嘉納治五郎師範の教えを通じて、青少年の指導・育成、自身の成長と喜びを実感し、楽しく集まれることを目標にし、また、会員が、柔道に登録して良かったと思える肝属支部にしたいと努力している。

5 事業として年2回の大会開催

・3月に第34回の鹿屋少年柔道学年別選手権大会の開催(個人戦)

・9月に第53回鹿屋市長旗少年柔道大会の開催

2大会とも宮崎県・熊本県からの参加がある。両大会とも650名の参加者があり、今年も盛大に開催することができた。

6 技術向上の研修

・審判講習会の実施

大会の審判を全員が出来るように技量アップ研修会(審判講習会)を大会の直前に鹿屋体育大学の濱田先生の指導で開催し、大会に参加するチームの指導者の審判技術向上を図っています。参加するチームの指導者は、大会での自分のチームの指導が良く出来ると好評です。また、保護者が納得する審判が出来るように努めている。

・鹿屋体育大学の公開講座への参加

昨年は、会員18名が護身術の講座(17時~19時 5日間)に参加し、鹿屋体育大学の講座修了証を授与された。

7 昇段試験

年に2回の昇段試験と形の講習会を実施していたが、受験者減少のため、今年から、年1回の昇段試験と形の講習会とし、今年7月27日に実施した。

8 鹿屋体育大学の柔道認定試験

今年で、7年目に入る。鹿屋体育大学一般学生の昇段認定試験を、県本部が出向き、年2回実施している。毎年70名程度の合格者を出している。

9 鹿屋肝属地区柔道選手権大会の実施

今年、県体の選手選考を兼ねて、第1回の鹿屋肝属地区柔道選手権大会を、男子(軽量級・重量級)、女子(軽量級・重量

級)の4階級に分けて実施した。男子42名、女子7名の合計49名の選手が参加。企画の段階では、参加者が集まるだろうかと心配したが、鹿屋自衛隊、鹿屋体育大学、高校教師、警察官、高校生が出場してくれ、社会人・大学生・教師・高校生がそれぞれ精一杯の力を出し合った試合が観られ、素晴らしい大会が開催できた。

10 合同練習会の開催

スポーツ少年団から社会人まで一緒に月1回(計画は、2回)の合同練習を開催している。鹿屋体育大学の学生も参加し、毎回120名位の参加がある。

11 今後の課題

スポーツ少年団をはじめ中学校・高等学校の柔道部員の減少が目立ち、柔道部員増加の方策に苦慮している。柔道部員増加が、肝属支部の今後の最大の課題です。

「青雲クラブ」の歩みと現況

青雲柔道クラブ育成会長 前原周造

1 歴史

青雲クラブは、青雲会病院川井田浩理事長が、「柔道を通して青少年の教育に寄与したい。願わくは、青雲クラブ出身者からオリンピック金メダリストを輩出したい」との熱き思いで、平成12年に設立された。

初代の師範は、木原紀幸先生(現県柔道会副会長)が就任。2代目は、平成16年から、田邊侑先生(現県柔道会理事)が就任され、現在に至っている。指導者は、他に4名がいて、27名の子供たちの指導に当たっている。

2 柔道場と練習の状況

柔道場の広さは、100畳。冷暖房完備の恵まれた柔道専用の柔道場である。

練習日(時間)は、水曜日・金曜日(午後6:15~8:15)・日曜日(午後5:00~7:00)の週3日で、1日に2時間程度の練習をしている。

柔道を通しての心身の健全育成は勿論のこと、技術的な面では、田邊侑師範の豊富な経験と実績に基づき「各個人の個性に応じた、そして将来性を重視した体捌きや技

の修得」に力を入れている。

また、練習意欲の喚起の面では、練習メニューのマンネリ化の回避、練習相手のグループ化と練習メニューの差別化、そして練習のパターン化等、独自の練習方法を取り入れている。

先生方の熱心な指導や保護者の努力により、近年団員数が飛躍的に増加し、今後の躍進が期待されている。

今後は、団員の健全育成のために、柔道だけでなく学業との両立を模索しているところである。

3 「青雲クラブ」の連絡先

始良郡始良町西餅田3080

電話 0995-66-3080

青雲クラブ係(青雲会病院総務課野田)

各種大会の成績(6月~9月)

・県ジュニア体重別選手権大会

6月7日(土) 鹿児島アリーナ武道場

◇男子(60kg級)

1位 平田 拓也(甲陵高等学校)

2位 藤山 成斗(鹿児島情報高等学校)

◇男子(66kg級)

1位 豎山 剛(鹿屋体育大学)

2位 愛甲 直人(県警察学校)

◇男子(73kg級)

1位 池田宏次郎(甲陵高等学校)

2位 内門 将(甲陵高等学校)

◇男子(81kg級)

1位 山田 泰裕(甲陵高等学校)

2位 矢田 友克(甲陵高等学校)

◇男子(90kg級)

1位 青木 和明(鹿屋体育大学)

2位 大王 光貴(鹿児島商業高等学校)

◇男子(100kg級)

1位 久保田大樹(鹿児島工業高等学校)

2位 秋吉 信寛(鹿屋体育大学)

◇男子(100kg超級)

1位 土屋 潤(鹿児島商業高等学校)

2位 北園 拓也(鹿児島実業高等学校)

◇女子(48kg級)

1位 豎山 優(鹿児島南高等学校)

- 2位 石寺 美穂 (鳳凰高等学校)
- ◇女子 (52kg級)
- 1位 西園 裕弥 (鹿児島南高等学校)
- 2位 二見 由樹 (れいめい高等学校)
- ◇女子 (57kg級)
- 1位 宮保 海 (鹿屋体育大学)
- 2位 平田 紗希 (鹿屋体育大学)
- ◇女子 (63kg級)
- 1位 水俣 潮里 (鳳凰高等学校)
- 2位 牛島 翔子 (鹿屋体育大学)
- ◇女子 (70kg級)
- 1位 松本 光 (鹿屋体育大学)
- 2位 白澤 恵子 (鹿児島南高等学校)
- ◇女子 (78kg級)
- 1位 濱田 尚里 (鹿児島南高等学校)
- 2位 上菌 結 (鹿児島南高等学校)
- ◇女子 (78kg 超級)
- 1位 稲森 奈見 (末吉中学校)
- 2位 豊永 祥子 (鹿児島南高等学校)

・全九州高校総体 (柔道競技)

★甲陵高等学校が初制覇!

6月14日 (土), 15日 (日)
沖縄県立武道館

◇男子団体戦優勝 甲陵高等学校

- ◇男子個人戦 (73kg級)
- 3位 北園 拓也 (鹿児島実業高等学校)
- ◇女子個人戦 (48kg級)
- 3位 豎山 優 (鹿児島南高等学校)
- ◇女子個人戦 (57kg級)
- 3位 富濱 綾香 (鹿児島南高等学校)
- ◇女子個人戦 (70kg級)
- 3位 白澤 恵子 (鹿児島南高等学校)
- ◇女子個人戦 (78kg級)
- 2位 濱田 尚里 (鹿児島南高等学校)
- 3位 上菌 結 (鹿児島南高等学校)
- ◇女子個人戦 (78kg 超級)
- 3位 吉野 光 (鹿児島南高等学校)

・県下中学校柔道大会

6月15日 (日)
鹿児島アリーナ武道場

- ◇団体戦 (男子)
- 1位 伊敷中学校
- 2位 阿久根中学校
- 3位 中種子中学校
- 3位 末吉中学校
- ◇団体戦 (女子)
- 1位 末吉中学校
- 2位 中種子中学校
- 3位 鹿屋東中学校
- 3位 高山中学校
- ◇個人戦 (男子)
- 1位 渡邊 英貴 (坊泊中学校)
- 2位 上林山裕馬 (鹿屋東中学校)
- ◇個人戦 (女子)
- 1位 稲森 奈見 (末吉中学校)
- 2位 田野田佳奈 (吉野中学校)

・県下少年学年別柔道大会

6月21日 (土) 鹿児島アリーナ武道場

- ◇男子4年生 (40kg級)
- 1位 加藤 輝 (柔心館)
- 2位 清水 颯汰 (清原)
- ◇男子4年生 (40kg 超級)
- 1位 大脇 充倫 (正道館)
- 2位 安達 乃真 (光武館)
- ◇男子5年生 (45kg級)
- 1位 内村 光暉 (光武館)
- 2位 福満 賢 (市来)
- ◇男子5年生 (45kg 超級)
- 1位 半渡 賢太 (南界)
- 2位 美園 篤也 (西之表黒潮)
- ◇男子6年生 (50kg級)
- 1位 竹之内 岳 (加世田)
- 2位 高吉 俊章 (国分西)
- ◇男子6年生 (50kg 超級)
- 1位 中西 将太 (末吉)
- 2位 松元 健太 (米倉柔道館)
- ◇女子4年生 (35kg級)
- 1位 栗野 あおい (枕崎)
- 2位 豊永 華純 (講進館)
- ◇女子4年生 (35kg 超級)
- 1位 瀧川 琳花 (正道館)
- 2位 八郷瑛美里 (米倉柔道館)
- ◇女子5年生 (40kg級)

- 1位 幸田 奈々 (末吉)
 2位 宮崎 繭 (光武館)
 ◇女子5年生 (40kg 超級)
 1位 前野 彩 (かわなべ)
 2位 中川 葵 (米倉柔道館)
 ◇女子6年生 (45kg 級)
 1位 奥蘭 聖奈 (修錬館)
 2位 松元 誉華 (かわなべ)
 ◇女子6年生 (45kg 超級)
 1位 山下 里奈 (南界)
 2位 辰島 千夏 (宇検)
- ・**県中学校総体 (柔道競技)**
 7月22日 (火), 23日 (水)
 鹿児島アリーナ武道場
- ◇**団体戦 (男子)**
 1位 舞鶴中学校
 2位 志布志中学校
 3位 伊敷中学校
 4位 田検中学校
- ◇**団体戦 (女子)**
 1位 末吉中学校
 2位 鹿屋東中学校
 3位 中種子中学校
 4位 高山中学校
- ◇**個人戦 (男子)**
 ◇男子 (55kg 級)
 1位 前田 力丸 (志布志中学校)
 2位 大山 陣矢 (吉野中学校)
 ◇男子 (60kg 級)
 1位 高島 賢佑 (末吉中学校)
 2位 山平 建司 (川内中央中学校)
 ◇男子 (66kg 級)
 1位 豎山 将 (舞鶴中学校)
 2位 牧瀬 武蔵 (中種子中学校)
 ◇男子 (73kg 級)
 1位 溝口 恵人 (志布志中学校)
 2位 竹下 恭平 (末吉中学校)
 ◇男子 (81kg 級)
 1位 渡邊 英貴 (坊泊中学校)
 2位 下村 柔悟 (田崎中学校)
 ◇男子 (90kg 級)
 1位 嶋 航平 (帖佐中学校)
 2位 保池 泰成 (田検中学校)

- ◇男子 (90kg 超級)
 1位 上林山裕馬 (鹿屋東中学校)
 2位 梶木 一馬 (菱刈中学校)
- 個人戦 (女子)**
 ◇女子 (44kg 級)
 1位 淵合加奈子 (末吉中学校)
 2位 田中 美佳 (帖佐中学校)
 ◇女子 (48kg 級)
 1位 柿木田江梨 (舞鶴中学校)
 2位 永田ひかり (伊敷中学校)
 ◇女子 (52kg 級)
 1位 古川 莉子 (串良中学校)
 2位 堀内 愛実 (末吉中学校)
 ◇女子 (57kg 級)
 1位 榎谷 有里 (帖佐中学校)
 2位 日高 絢音 (中種子中学校)
 ◇女子 (63kg 級)
 1位 松原 美穂 (中種子中学校)
 2位 島中 真幸 (吹上中学校)
 ◇女子 (70kg 級)
 1位 吉村 静織 (鹿屋東中学校)
 2位 奥平 元実 (阿久根中学校)
 ◇女子 (70kg 超級)
 1位 稲森 奈見 (末吉中学校)
 2位 吉永美英由 (山川中学校)

・**全国高校総体 (柔道競技)**

★**鹿児島南高校女子3位入賞**

8月5日～9日 埼玉県立武道館

◇**団体戦 (女子)**

3位 鹿児島南高等学校

◇**個人戦女子 (78kg 級)**

2位 濱田 尚里 (鹿児島南高校)

・**九州中学校総体 (柔道競技)**

8月6日～8日 長崎県総合体育館

◇**個人戦男子 (55kg 級)**

1位 前田 力丸 (志布志中学校)

◇個人戦男子 (66kg級)

1位 堅山 将 (舞鶴中学校)

◇個人戦男子 (90kg超級)

1位 上林山裕馬 (鹿屋東中学校)

・国体九州ブロック柔道競技大会

8月17日 宮崎県武道館

2位 少年男子 (大分国体へ出場)

2位 少年女子 (大分国体へ出場)

2位 成年女子 (失格)

・全国中学校総体 (柔道競技)

8月19日～22日

石川県白山市松任総合運動公園体育館

◇男子個人戦 (66kg級)

3位 堅山 将 (舞鶴中学校)

・全国小学生学年別柔道大会

8月24日 (日) 浜松市浜松アリーナ

◇女子6年生 (45kg超級)

3位 山下 理奈 (南界柔道少年団)

・かがやき県体柔道競技

★鹿児島地区が優勝!

平成20年9月21日 (日)

南九州市知覧武道館

▽ 予選リンク 肝属2-1川辺, 出水1-1 (内容) 川辺, 出水2-1大島, 大島3-2伊佐, 鹿児島5-0伊佐, 鹿児島4-0指宿, 始良4-0指宿, 日置1-1 (内容) 始良, 日置2-0曾於, 川薩2-1曾於, 熊毛2-1川薩, 熊毛3-1肝属

▽ 決勝トーナメント準決勝

日置 4-1 出水

鹿児島1-1 (代表) 熊毛

▽ 決勝 鹿児島2-1日置

主な行事予定 (10月～1月)

10月 3日 市中学生スポーツ教室
 10月 6日 市高校新人柔道大会
 10月22日 県高校新人柔道大会 ~23日
 10月26日 妙円寺詣柔道大会
 11月16日 県下少年柔道大会
 11月27日 県警察柔道大会
 11月30日 九州大学体育大会柔道競技
 12月20日 稽古納め
 12月21日 県スポ少競技別交歓大会
 1月10日 稽古始め
 1月12日 柔道冬期講習会~17日
 1月18日 柔道冬季昇段試験
 1月24日 高校柔道選手権大会~25日
 1月31日 県柔道選手権・県女子選手権

(図書紹介) 「柔道で磨く“心技体”」

山口 香 中村 勇 (鹿屋体育大学) 共著
 ベースボール・マガジン社 1200円

この本は、初めて柔道に触れる子供や大人が短期間でその魅力を知ることができるようにまとめられています。「柔道に関する知識」、「投の形」、「投げ技」、「固め技」など写真や図で解説した大変わかりやすい本です。

鹿屋体育大学の中村勇先生は、柔道がどのようにして日本から世界へと雄飛していったのか、国際普及の歴史をまとめた「海を渡った柔道」を担当し、海外渡航の船上でロシア人の大男と対戦した嘉納治五郎師範のエピソードなどを紹介しています。

また、「数字で読み解く柔道」編では、日本や世界における柔道人口は? トップの中学生柔道選手の体力は? など、Q&A形式も満載。柔道に関する貴重なデータが紹介され、大人も子供もこの一冊で柔道通となること請け合いです。近くの書店で買ってください。

【編集後記】「県柔道会だより」第11号の発行直前に国体少年女子初の準優勝の朗報。紙面の構成のやりなおしなどあって、少々慌てました。それでも、このような朗報で慌てることは何度あっても良いものです。

なお、「県柔道会だより」第12号は、平成21年2月1日に発行の予定です。